**『海の命』②**（　　）番　名前（　　　　　　　　　　　　）

めあて　最も優れた漁師は誰だろう

人物像が分かる文や文章から考えられることを書こう

父

瀬の流れが速くて、だれももぐれない瀬にたった一人でもぐってクエをついていた。

２メートルもある大物をしとめてもじまんしない。

不漁の日が十日続いても少しも変わらない。

△死んでしまった。

太一

村一番の漁師であり続けた。

荒らしをもはね返す屈強な男になっていた。

海が自由な世界になった。

瀬の主を殺さなかった。

△一人前の漁師にはなっていない

最も優れた漁師は

だと思います。

与吉じいさ

太一の父が死んだ瀬に、毎日一本づりに行っている。

「千びきに一ぴきだいいんだ」

太一の師匠